

自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒



しただの郷学園
下田中学校便り第2号
令和3年5月31日発行



文責 校長 小林貴英

部活動を通して学ぶこと

部活動は自分の意志で選ぶものですので、誰もが進んで取り組みます。「部活をするために学校に行く」というほど部活動にのめり込む人もいます。打ち込めるものがあるというのは素晴らしいことです。上手になりたいけれどどうやったらいいのかわからない。そんなときは、先輩が教えてくれます。各部では、いつも先輩から後輩への指導の様子を見ることができます。部活動を通して、技術も気持ちも受け継がれていきます。



学習が進化します

三条市内全学校の児童生徒が Chromebook（クロムブック）というタブレット PC 端末を使用し始めました。

十数年前、ホワイトボードや付箋（ポストイット）が授業で使用され始めたとき、新しい学び方が登場しました。今回のタブレットの導入により、また新しい授業が生まれます。各教科の授業においてどんな学習ができるのかを挑戦しているところです。



技術の時間

野菜の苗植えの合間にキーボードでレポート作成。タブレットで撮影した写真をレポートに貼り付けるなど様々な工夫をして、魅力的なレポートの完成を目指しています。

発信力・発表力を磨く

私が若かった頃の授業でスピーチ活動をやったときの事です。生徒は一生懸命に準備をして取り組んでくれましたが、本番ではみんな緊張した表情でした。スピーチが終わって笑顔が戻ると同時に「スピーチ大嫌い。緊張するだけでおもしろくない。」という感想が続々と聞かれました。

さらに悲しいことに、生徒のほとんどが友達の発表を聞いていないという事実です。その理由は明快です。発表が終わってしまえばノルマ達成ですし、これから発表する人は、他人の発表を聞くことよりも自分の発表原稿を覚えるのに必死だからです。発表を聞く目的さえも、私は生徒に示していませんでした。伝える意味のない、聞く意味のないスピーチ活動でした。

楽しく発表ができ、友達の発表内容をわくわくしながら聞くことができたならば、教室は笑顔が溢れる最高の学びの空間になると思います、その日以来試行錯誤したことを覚えています。

さて、下田中学校では、今年度は発表力（発信力）をつけることを目指しています。各教科の学習では、単元の最後に発信の場を設定します。発信する内容は教科によって異なります。プレゼンやレポート、作品づくり、試合や実演などです。生徒たちは発信することを目指して学習活動に真剣に取り組むこととなります。11月のオープンスクールでは、生き生きと発信する生徒の姿を保護者の皆様、地域の皆様にお見せする予定です。

授業以外でも、発信力、発表力をつけるために工夫している場面があります。

先週の生徒朝会では、いくつかの専門委員会が活動を紹介しました。聴衆を楽しませるための工夫が見られました。学校内の諸活動を通して、発信力・発表力を磨いています。



3年生 修学旅行 ～県内2泊3日～

サントピアワールド アトラクション マスクで絶叫



ANA クラウンプラザホテル テーブルマナー講座 緊張の食事

上級学校訪問 知らなかった学びの場があることに驚く



ホテルベルナティオ たっぷり歩いて 十日町の自然を満喫

清津峡

トンネルの先には
こんなきれいな場所が！



ほくほく線 暗くした電車内 天井に映るきれいな映像を堪能



うみがたい水族館 イルカショーのあと たくさんお土産を買いました

旅行中の下中生は 常に礼儀正しく

いつもと変わらない爽やかなあいさつを心掛け

2泊3日の旅を笑顔で過ごしてきました

ホテルの温かいおもてなしの心に触れ

訪問したすべての施設の感染対策に感謝

バスや電車にも感染対策が施されていました

旅行の成功に尽くしてくれたすべての方々に感謝します

新潟の見どころ・楽しいこと・自慢したいことを たくさん発見した旅行でした

お知らせ

学習支援動画の紹介 ～学習の補充、実力アップに利用しよう～

新潟県教育委員会が作成した学習支援動画を視聴できるようにしました。

下田中学校ホームページのトップ画面にある「学習支援動画」をクリックした後、「開く」を選びます。パスワードを求められます。パスワードは今週末の各学年だよりでお知らせします。

中学生用の動画が700本以上用意されています。各動画10分前後と取り組みやすいものになっています。ぜひ活用してみてください。

